

Minamiboso 01

南房総 | 土地・更地

ダイナミックな岩礁と海波を借景に



特徴

南房総の南端に位置し、雄大な景色が望める広大なオーシャンフロント！

太平洋に接した敷地のため、海との間に他の土地や眺望を遮る電線などは一切なく、水平線から昇る朝日を眺めることができます。建築制限が厳しくない300坪超の土地のなので、絶景を満喫できる別荘を自由に建てられます。「都心とのほどよい距離感」「自然の中でのスローライフ」この2つが両立しているため、昨今は有名企業の別荘や会員制高級リゾートなどの建設が続いている、富裕層に人気の土地です。

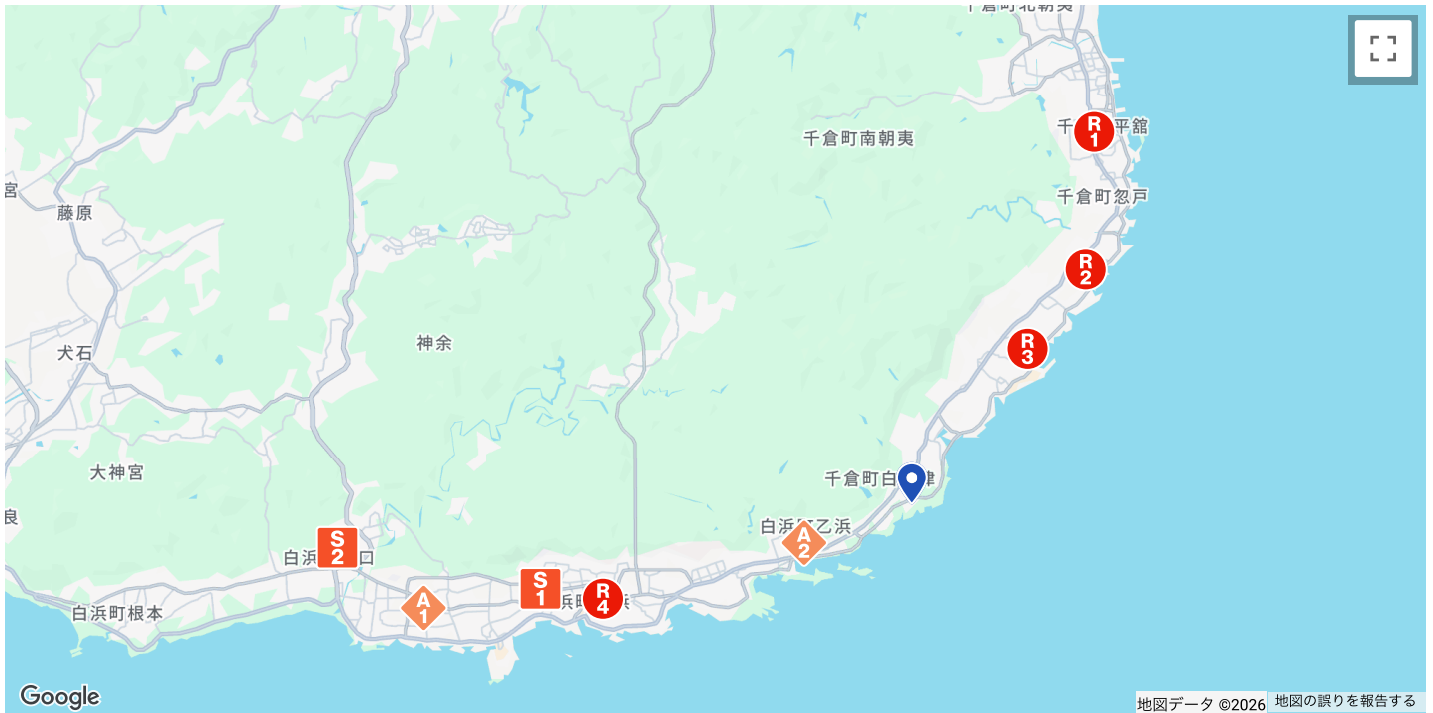
概要

所在地 千葉県南房総市千倉町白間津字橋ノ下
構造／階数 ー

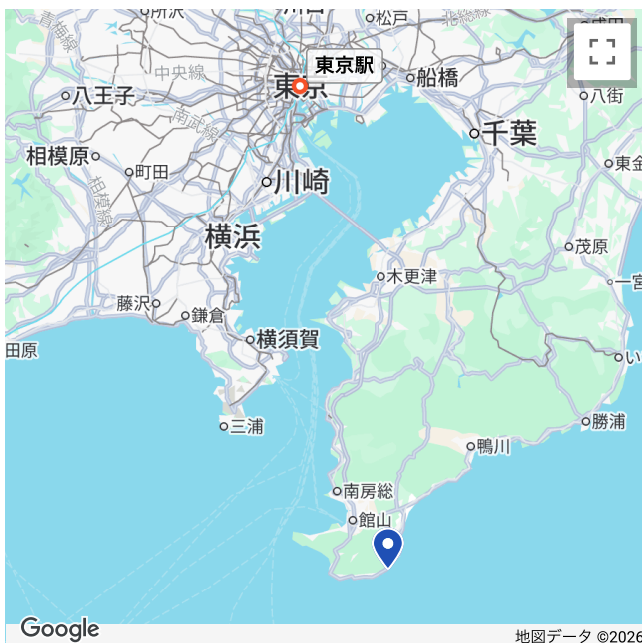
敷地面積 約309坪
延床面積 ー

エリア情報

近隣店舗・施設



- R1 もへじ (居酒屋)
- R2 クッチーナ カーナ (イタリア料理)
- R3 Burger FIRST (ハンバーガー)
- R4 オドーリ・キッチン (イタリア料理)
- S1 おどや (スーパー)
- S2 セブン-イレブン (コンビニ)
- ◆ A1 THE BONDS SPA (スパ)
- ◆ A2 釣り船 浜田丸 (沖釣り)



アクセス情報

東京駅～現地 約120km

- 車 約2時間 (首都高～東京湾アクアライン～国道409号～東関東自動車道館山線～安房グリーンライン)
- 電車 約3時間 (JR総武線～JR内房線～日東交通バス)
最寄り駅：千倉駅

滞在イメージ

車を降りて白間津の土地に立つ。

年輪というべき地層が露わになった岩場に、太平洋からやってきた波が打ちつけている。ややもすると荒々しさを感じるが、視線を上げ、ひたすらに伸び続ける水平線が視界の中央になると、景色は一変する。はるか遠くに見える空も雲も海も、水平線に沿ってどこまでも左右に広がり、穏やかな雄大さを見せてくれる。そのはるか遠くからやってくる海風が体に当たると、何か大きなものに包まれているように感じる。

「さて、どうしようか」

これからはいつだって、この壮大で爽快な風景を自分のものにできるのだ。

とは言え、ただ眺めるだけではもったいない。今感じたこの感覚を2倍、3倍、いや、それ以上に増幅させて、全身で味わいたい。そのためには、どのような別荘を建てたら良いのだろうか、と思索し始めた瞬間にふと口から漏れ出てしまった言葉だ。

青緑から群青色へとグラデーションがかった海へと続く、インフィニティプールを造るのも悪くない。悪くないどころか、むしろ憧れだ。この土地を入手するまで、多くの別荘の写真を見てきた。そこに写る数々の美しいインフィニティプールは、ため息ものだった。テラスの横幅いっぱい広がった水面からひと続きとなる水平線を、リビングのソファからゆったりと眺めるのは、きっと最高だろう。

でも、この無限に広がる大海原と大空を、もっと心地よく五感で感じる方法があるはず……。

インフィニティプールと同じく目星を付けていた、少し高くしたテラスにジャグジーを置くのはどうだろうか。

目に映る色とりどりのブルーの真ん中に、波の音を引き立て、伸びやかに鳴り響くストリングスやホーンセクションをBGMにして、ただただリラックスするためのスペース。目を楽しませてくれる色は青だけではないだろう。朝日が昇る早朝はオレンジに染まりゆく紫、日没後は漆黒の中に白くきらめく無数の星。鮮やかに彩る天体ショーの中で浸かるジャグジー、これは最高を超えるのではないかと、味覚を刺激するために、遅い時間はシャンパンを軽く傾けるもの良いだろうし、明るい時間は濃い目のアールグレイを炭酸で割ったティーシャンパンもびったりのはずだ。いやはや、これぞ至福の極みではないか？

いやいや、自分ならこの至福を超えるスペースがきっと作れるはず。車からハンモックチェアを持ってきて、ひとりプレスト再開だな。

物件概要



真上から（オレンジ部分：敷地）



海上から現地を望む



現地から海を望む

詳細情報

所在地	千葉県南房総市千倉町白間津字橋ノ下	敷地面積	約309坪
価格	ask	指定建蔽率	指定なし
土地権利	所有権	指定容積率	指定なし
現状	更地	延床面積	—
取引態様	仲介	構造／階数	—
備考	—	新築年代	—